

アルジェリア政治・経済月例報告
(2017年2月)

平成29年4月
在アルジェリア日本国大使館

1 内政

- 20日、大統領府は、同日から21日にかけて予定されていたメルケル独首相のアルジェリア訪問が、ブーテフリカ大統領が急性気管支炎により「一時的に対応できない」ため、両国の都合の良い日時に延期されたと発表。
- 13日、タライ公共事業・運輸大臣は新国際空港建設現場を視察。ブドルバラ・アルジェリア航空社長退任の噂を否定（5日、エル・ウエッド県にて国内線プロペラ機の脱輪事故後、同大臣が飛行機整備場を抜き打ち視察。同社長の責任が問われている）。
- 26日、ガイド・サラ国防副大臣兼国軍参謀総長は、コンスタンティーヌ県アイン・スマラにある、フクス2 (FUCHS-2) 装甲兵員輸送6輪駆動車等を製造するラインメタル (Rheinmetall 独) アルジェリア工場（第1段階で年間120両製造予定、フル稼働時には約1千人を雇用）を視察。

2 外交

- 19～20日、メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣はチュニスにてリビアに関するエジプト・チュニジア・アルジェリア外相会合に出席（2月中旬までに同大臣はアルジェにて、リビアの政治家や軍関係者と会談を重ね、28日にはマエティグ副首相と会談）。

3 治安

- 26日、コンスタンティーヌ市の警察署にテロリスト1名が接近し、警察官が発砲し阻止したが、テロリストによる爆発によって外壁に約2メートルの穴が生じ、警察官数名が軽傷を負った。

4 経済

● 外貨準備高

1日、ベンベルカセム・アルジェリア中央銀行副総裁は国営ラジオのチャンネル3に出演し、2016年末時点の当国の外貨準備高について発表した。同副総裁は、2015年末時点で1,440億ドルあった外貨準備高は、2016年末時点で1,140億ドルまで減少した旨発表した。

● アルジェリアの対中国輸入

アルジェリア関税局・国家統計情報センター（C N I S）が発表した統計によると、2016年のアルジェリアの対中国輸入は、83億9,600万ドルを計上し、輸入全体の17.97%を占め、対前年比1.87%増となった。対照的に、2013年に輸入相手先第1位の座を中国に明け渡したフランスは、年々対アルジェリアの輸出額が減少傾向にある。2016年の輸入相手先第2位であるフランスからの輸入額は47億4,400万ドルで、輸入全体の10.15%、対前年比12.59%減となった。アルジェリアは、中国と元決済を導入しており、主に工業生産財や消費財を輸入しているが、ハイテク製品の輸入も徐々に増えている。携帯電話（2億9,403万ドル）、カラーテレビ受像器（2億7,856万ドル）、石油・ガス管やケーシングパイプ（1億9,468万ドル）等である。中国は、ここ10年で約3倍となったアルジェリアの輸入増加の最大の受益者であり、アルジェリアが慢性的に貿易赤字を記録している相手先である。

● ウアリ・ブーメディエン空港拡張工事

13日、タライ運輸・公共事業大臣はアルジェのウアリ・ブーメディエン空港を訪問し、中国企業が拡張工事現場を視察した。タライ大臣は、同工事の進捗率は56%であり、工事のスピードに満足している旨述べた上で、右工事が竣工した暁には、年間1,100万人が利用することができる国際基準を満たした空港になると述べた。同拡張プロジェクトの予算は740億アルジェリアン・ディナール（DA）となっており、引き渡しは2018年末の予定。

● インターネットのルールに関するアフリカ会議

13日、ラマムラ外務・国際協力大臣、ハジャール高等教育・科学研究大臣、フェラウン郵便・情報通信技術大臣、ムンタガ・マリ通信大臣等アフリカの大い17名が参加し、同会議が開催され、出席者は、外国の覇権からアフリカの情報を保護するため、アフリカ情報バンクの設立を提言した。

● 国債の再発行

ババ・アミ財務大臣は、2016年に発行した「経済成長のための国債」に続き、2017年中に国債を再発行すると述べた。同大臣は、2016年に発行した国債は利率5%であったものの、2017年は利率無しで検討していると述べた。

●輸入ライセンス

18日、セラル首相は、輸入ライセンスの対象品目及び割当てに関する会合を開催した。同会合後、テブン運輸・公共事業大臣兼臨時商務大臣は、アルジェリアで生産されている全ての品目、例えばじゃがいも、精肉、ミネラルウォーター等が2017年度の輸入ライセンスの対象となる旨述べ、また自動車の輸入台数は4万台から5万台程度になると述べた。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月1日	アラブ首長国連邦	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第4回ロシア・アラブ諸国協力フォーラムに出席
2月2日	カタール	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	アブドゥラー首相兼内相、ムハンマド外相と会談等
2月8日	チュニジア	ベドゥイ内務・地方自治大臣、ジトゥーニ・ムジャヒディン大臣	サキエ・シディ・ヤセフ59周年記念式典に出席
2月10日	エジプト	ウルドゥ・ケリファ国民議会議長	アラブ国会議長年次会合に出席
2月14日 ～15日	ベルギー	ラマムラ外務・国際協力大臣	仲介に関する国際会議出席、レインダ一副首相兼外相、モゲリーニEU上級代表と会談
2月14日	スペイン	ハメル警察庁長官	ゾイド内務大臣、イグレスィアス警察庁長官と会談等
2月18日	UAE	ガイド・サラ国軍参謀総長	ムハンマド皇太子ムハンマド・ドバイ首長他と会談。INDEX視察
2月19日 ～20日	チュニジア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	リビアに関するエジプト・チュニジア・アルジェリア外相会合に出席

2月19日	サウジアラビア	アイサ宗教・ワクフ大臣	アル・シェイク宗教大臣と会談等
2月27日 ～28日	カタール	ウルドゥ・ケリファ国民議会議長	タミーム首長と会談
2月27日	ベルギー	タライ公共事業・運輸大臣	ピロー運輸大臣と会談
2月28日	スイス	ラマムラ外務・国際協力大臣	第34回国連人権委員会に出席

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
2月3日	フランス	ファビウス憲法評議会議長	セラル首相, メデルシ憲法評議会議長, ラマムラ外務・国際協力大臣, ブシュアレブ産業・鉱業大臣と会談等
2月5日	リビア	ムハンマド・アル・ガスリ准将	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等
2月7日	ザンビア	カラバ外務大臣	セラル首相, ラマムラ外務・国際協力大臣と会談等
2月7日	チュニジア	シェイクルフ・エネルギー大臣	セラル首相, ブーテルファ・エネルギー大臣と会談等
2月7日	リビア	アリー・バシール・ズウエイク政党代表団長	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談
2月8日	フランス	ギグー国民議会外交委員会議長	ベンサラ国民評議会議長, ウルドゥ・ケリファ国民議会議長と会談等
2月11日	ベネズエラ	ゴメス対外関係大臣, マルティネス石油大臣	ラマムラ外務・国際協力大臣, ブーテル

			ファ・エネルギー大臣と会談等
2月12日	コンゴ(共)	ガコツソ外務・国際協力大臣	セラル首相, メサヘル・マグレブ・A U・アラブ連盟大臣と会談等
2月12日 ~13日	マリ	トラオレ治安大臣	メサヘル・マグレブ・A U・アラブ連盟大臣, ラマムラ外務・国際協力大臣, ベドゥイ内務・地方自治大臣と会談等
2月12日	リビア	ジンターン市代表団	メサヘル・マグレブ・A U・アラブ連盟大臣と会談
2月13日 ~14日	フランス	マクロン大統領候補	セラル首相, ラマムラ外務・国際協力大臣, ブシュアレブ産業・鉱業大臣, アイサ宗教・ワクフ大臣と会談等
2月13日	マリ	ムンタガ通信大臣	フェラウン郵便・情報通信技術大臣と通信に関する覚書に署名
2月14日	国連	リファイ世界観光機関事務局長	セラル首相, ヌリ国土整備・観光・手工業大臣と会談等
2月15日 ~16日	サウジアラビア	アブドゥラ商務・投資大臣	アルジェリア・サウジアラビア投資フォーラムに出席
2月15日	リビア	サーレム・ムハンマド・ジェハ少将(シルテ対ダーイシュ「強固な壁」作戦関係者)	メサヘル・マグレブ・A U・アラブ連盟大臣と会談
2月17日	モザンビーク	トネラ大統領特使	メサヘル・マグレ

			ブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等
2月20日	マリ	アルフセニ・エネルギー・水資源大臣	ブーテルファ・エネルギー大臣
2月21日	イタリア	アメンドラ外務次官	第3回イタリア・アルジェリア戦略対話に出席
2月21日	ドイツ	ベックマイヤー経済・エネルギー大臣	アルジェリア・ドイツ・ビジネスフォーラム，第6回合同経済委員会に出席
2月22日	ガボン	ブベヤ外務・仏語圏・地域統合大臣	セラル首相，ラマムラ外務・国際協力大臣，ブーテルファ・エネルギー大臣大臣
2月25日 ～27日	アルゼンチン	マルコーラ外務相	ラマムラ外務・国際協力大臣，メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣，ブーテルファ・エネルギー大臣と会談
2月26日	オランダ	ブラント外務次官	ラマムラ外務・国際協力大臣，ラービヒ外務次官と会談等
2月28日	リビア	マティク副大統領	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣と会談等

(了)